

従業者向け	児童発達支援評価表
-------	-----------

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			活動内容に応じて部屋を分けると共に、利用定員に対してスペースを充分確保しています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			予約を事前に確認した上で職員配置をしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			全室バリアフリーで有る他、室内のドアは全てスライド式です。視覚的構造化、手順書を各所に掲示し、物の設置場所は利用者目線で配置しています。トイレは利用者と職員で分けて使用しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			整理・整頓・清掃を行うと共に机や玩具などの除菌も毎日行っています。利用空間は間仕切りで仕切っており、活動に合わせてスペースを分けています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			集団訓練室の他に個別訓練室も確保しています。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			全職員参加の上、毎日の朝礼/終礼で職員同士で意見交換を行い、業務改善に励んでいる他、定期的にミーティングを行っています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			職員会議を設け、意見交換を行った上で業務改善を行っています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			全職員参加の上、毎日の朝礼/終礼で職員同士で意見交換を行い、業務改善に励んでいる他、定期的にミーティングを行っています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			本部に於ける定期巡回時に評価を受け、業務改善に繋げています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			本部開催に於ける研修に年次スケジュールを組んだ上で参加しています。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			保護者向け評価表及び自己評価表をホームページに公表しています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			保護者の意見や行動観察を行い、支援計画を作成しています。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			児童発達支援管理責任者を中心に全職員共通理解をした上で児童発達支援計画を検討しています。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			児童発達支援計画を職員に周知した上で計画に沿った支援を行っています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			日々の適応行動や、行動観察など支援システムを活用して記録しており、常に確認出来る様になっています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			保護者の要望を踏まえた上で、5領域を支援内容に含めている他、ニーズに合わせた支援計画を作成しています。

へ 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			ミーティングなどで生まれた職員のアイデア等を取り入れ立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			ミーティングなどで生まれた職員のアイデア等を取り入れ固定化しない様にスケジュール管理をしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			個別活動/集団活動を日々組合せて支援しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			朝礼にて前日の振り返り、当日の役割分担を確認した上で支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			終礼時には当日の振り返り、翌日の役割分担を確認しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			利用者の活動記録を毎日作成し、保護者や職員と共有をしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			定期的にモニタリングを行い、必要に応じて見直しを行っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			参画しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			支援を行える体制を整えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			保育園、幼稚園、小学校などとの情報共有は行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			情報共有、相互理解に努めています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			○	今後、必要に応じて検討していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			○	今後、必要に応じて検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			毎日、活動記録を添えて連絡をしていると共に送迎時に状況などをお伝えし、情報共有を行っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			○	今後、必要に応じて検討していきます。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に運営規定/支援プログラム/利用者負担について説明を行っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			契約時に子どもの様子や保護者の意向を踏まえて計画を作成しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			契約に於ける面談等で説明を行い同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			必要に応じ面談や助言、相談支援を行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			○	今後、必要に応じて検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			普段からコミュニケーションを取ることを心掛けると共に相談があった際は迅速に対応しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			活動概要や行事予定などは支援システムを使用して発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報書類は書庫に保存しています。廃棄書類はシュレッダーを使用しています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			視覚支援を使って意思疎通を行っています。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			○	今後、必要に応じて検討していきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			各マニュアルを作成の上、訓練を実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			BCPを策定し、避難訓練を実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			保護者に聞き取り及び書面にて情報を共有しています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				対称ありません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			作成しています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			契約時に保護者へ説明をしています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハットを実施しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			研修を行い職員に周知しています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			契約時に保護者へ説明をしています。	

従業員向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。
「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			活動内容に応じて部屋を分けると共に、利用定員に対してスペースを充分確保しています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			予約を事前に確認した上で職員配置をしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			全室バリアフリーで有る他、室内のドアは全てスライド式です。視覚的構造化、手順書を各所に掲示し、物の設置場所は利用者目線で配置しています。トイレは利用者と職員で分けて使用しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			整理・整頓・清掃を行うと共に机や玩具などの除菌も毎日行っています。利用空間は間仕切りで仕切っており、活動に合わせてスペースを分けています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			集団訓練室の他に個別訓練室も確保しています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			全職員参加の上、毎日の朝礼/終礼で職員同士で意見交換を行い、業務改善に励んでいる他、定期的にミーティングを行っています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			職員会議を設け、意見交換を行った上で業務改善を行っています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			全職員参加の上、毎日の朝礼/終礼で職員同士で意見交換を行い、業務改善に励んでいる他、定期的にミーティングを行っています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			本部に於ける定期巡回時に評価を受け、業務改善に繋げています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			本部開催に於ける研修に年次スケジュールを組んだ上で参加しています。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			保護者向け評価表及び自己評価表をホームページに公表しています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			保護者の意見や行動観察を行い、支援計画を作成しています。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			児童発達支援管理責任者を中心に全職員共通理解をした上で児童発達支援計画を検討しています。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			支援計画を職員に周知した上で計画に沿った支援を行っています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			日々の適応行動や、行動観察など支援システムを活用して記録しており、常に確認出来る様になっています。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者の要望を踏まえた上で、5領域を支援内容に含めている他、ニーズに合わせた支援計画を作成しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティングなどで生まれた職員のアイデア等を取り入れ立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ミーティングなどで生まれた職員のアイデア等を取り入れ固定化しない様にスケジュール管理をしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動/集団活動を日々組合せて支援しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼にて前日の振り返り、当日の役割分担を確認した上で支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼時には当日の振り返り、翌日の役割分担を確認しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用者の活動記録を毎日作成し、保護者や職員と共有をしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、必要に応じて見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインに則した内容で、社会生活を見据えた支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己選択できる機会を療育プログラムに取り入れています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参画しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		支援を行える体制を整えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		情報共有を送迎時に行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		情報共有、相互理解に努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			対象者はいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	今後必要に応じて検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	今後必要に応じて検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	今後必要に応じて検討していきます。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日、活動記録を添えて連絡をしていると共に送迎時に状況などをお伝えし、情報共有を行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	今後、必要に応じて検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に運営規定/支援プログラム/利用者負担について説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時に運営規定/支援プログラム/利用者負担について説明を行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約に於ける面談等で説明を行い同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		契約に於ける面談等で説明を行い、必要な際は支援を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	今後、必要に応じて検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		普段からコミュニケーションを取ることを心掛けると共に相談があった際は迅速に対応しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		活動概要や行事予定などは支援システムを使用して発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報書類は書庫に保存しています。廃棄書類はシュレッダーを使用しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援を使って意思疎通を行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	今後、必要に応じて検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは作成しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的を実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者に聞き取り及び書面にて情報を共有しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対称ありません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		作成しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に保護者へ説明をしています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを実施しています。

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			研修を行い職員に周知しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			契約時に保護者へ説明をしています。